



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第2号
令和元年5月17日
校長 松丸 晴美

「次代に引き継ぐ」

校庭の緑が、日に日にその濃さを増しています。五月は、若葉が目映え美しい季節ですが、風がなくても古い葉が落ちる季節でもあります。

「柏餅」を包むカシワの葉は、新芽が出てから古い葉が枝を離れることから「ゆずり葉」という名前が付いているそうです。

人間でいえば「幸福な世代交代」と言ってもよいのかもしれませんが。

4月に入学・進級した本校の生徒たちも、新しいクラスメイトや先生との出会いにだいぶ慣れ、授業や部活動に熱心に取り組んでいる姿から、夢や目標をもって学校生活を送ろうとする意気込みが伝わってきます。

しかし、一月近くも緊張の糸を張り続けることは容易ではありません。ゴールデンウィークの9連休は、心と体をリフレッシュする良き機会になったのではないかと思います。

さて、この連休の間に、元号が「平成」から「令和」に変わりました。学校も年度の途中ですが、「平成31年度」から「令和元年度」に変わりました。今の在校生は、「平成」に入学し、「令和」に卒業することになります。

昭和22年に125人の生徒で開校した本校も、今年で開校72年目を迎え、「昭和」から「平成」の間に、一万八千人を超える卒業生を送り出し、日本ばかりか海外での活躍も耳にします。

「昭和」から「平成」になった時は、冬の寒い時期でもあり、また、ずっと病床にあった天皇陛下が崩御された直後でもあったので、暗いイメージが残っています。しかし、

「令和」に変わった今回は、季節も良く、明るいお祝いのムードが漂い、生徒たちの前途に希望の光が差し込んでいるような気持ちになりました。本校から送り出す生徒たちが、互いに知恵を出し合い、力を合わせてより良い「令和」の時代を築いていけるよう、保護者や地域の方々と手を携え、私たち教職員も一丸となって頑張っていきたいと思います。

長い連休明けの校内では、「こんにちは！」と元気よくあいさつする声が響いています。

そのような中、11日（土）に、この3月で本校から異動・退職した教職員が来校し、生徒に最後の話しをする離任式がありました。離任した教職員にとっては、外部から石西中の生徒の姿を見る、また、教育活動などを振り替える貴重な機会にもなります。

身じろぎもせず、まっすぐ顔をあげて離任した教職員の話の聞いている生徒の姿に、壇上からは口々に「これだけ大勢の生徒がいても、一人一人がその場にふさわしい行動をよく考え、実行しているところが素晴らしい。さすが石西の生徒ですね。」と、石西中生徒の優れている資質や大規模校の活力溢れる、それでいて規律のとれている姿に改めて感心したことを伝えてくれました（詳細は次頁を参照）。

これから本格的に運動会の練習が始まります。各学級の団結力を高め、生徒が主体性を発揮し、学校をあげて「石西魂・石西愛」を披露する令和になっての最初の学校行事です。本校に根付いている輝かしい良き伝統をさらに発展すべく生徒の頑張りに期待しています。保護者の皆様のご協力、地域の皆様の応援をよろしくお願いいたします。

上級生から1年生へ 西中紹介

生徒会担当 鈴木 大貴

新しく中学生になった1年生は、たくさんの新しいことに期待を抱いていました。中学校はどんなところなのか、今まで過ごしてきた小学校とはどう違うのか、わくわくしていたことでしょう。そんな反面、右も左もわからないことから不安な気持ちもあったはず。4月11日（木）、「西中紹介」が行われました。わからないことだらけの1年生に、生徒会や部長会が中心となって、委員会活動や部活動について紹介をしました。2、3年生は石西の“先輩”として特色や、やりがいを伝えていました。部活動では、実演も交えて発表をしていました。そんな“先輩”の姿に、1年生は目を輝かせていました。きっと、不安な気持ちは和らぎ、より一層期待は膨らんだことと思います。1年生は、やってみたいと感じた活動に積極的に取り組み、頑張ったことや学んだことを、2年生になったときに、そのときの新入生に伝えてくれるはず。素敵な伝統を感じられる西中紹介でした。



1学年主任 古賀 旭

落ち着いた口調や、ユーモアを交えた紹介文。大勢の前で、胸を張って自分たちの役割を説明する上級生の姿は、1年生にとって、きらきら輝く「憧れ」「希望」そのものだったと思います。温かな入学式で迎えてくれた先輩方が、今度は熱い思いを込めてパフォーマンスしてくれました。西中紹介が行われる前と後では、明らかに1年生の表情の変化があり、やりたい委員会や部活動の話をもっと、前向きに語っていました。企画をしてくれた上級生、ありがとうございました。

西中の魅力の一つに、「先輩から後輩への伝統のバトンパス」があると思います。西中紹介も然り、合同体育でのダンスの継承も然り。恵まれた環境でスタートを切ることができた1年生が、今後ますます成長できるよう、教員も全力で支えていこうと思っています。学年目標の「太陽の学年」に恥じぬよう、エネルギーがあり、温かで、そして色々な表情を見せる学年を目指します。がんばろう、1年生！





5月11日(土)の6校時に離任式が行われ、今年度は3名の先生に来校いただきました。代表生徒から、「お礼のことば」と花束を贈り、離任された先生からは、生徒たちに向けて最後のメッセージをいただきました。どの学年も終始しっかりとした態度で式に臨み、とても素晴らしい離任式になりました。

離任された先生方のお話を一部紹介します。さらに、今回離任式に来られなかった金子先生からもメッセージをいただいたので紹介します。

<p>副校長 溝口 千里 先生 本校在職3年</p>	<p>今回異動したことで、石神井西中の良いところに改めて気付きました。石西中は国際理解教育が盛んです。外国の文化を理解する活動や日本の文化を体験し、大切にしようという学習が多いことも特徴のひとつであると感しました。 「共生」が意味するのは、校訓の一つである色々な個性や考えをもった人たちのことを尊重して理解し合い、一緒に生活していこうというものです。人それぞれ得意、不得意なことがあることを理解し、互いにコミュニケーションを図り、生活していく。そのような「共生」を目指した社会を作ってほしいと思います。</p>
<p>音楽科 教諭 土井 奈苗 先生 本校在職6年</p>	<p>異動した開進第二中学校には、難聴学級があります。その生徒もほとんどと一緒に授業を受けます。私はこれまで話すスピードや口を大きく開けて話すことなど、あまり今まで意識してきませんでした。そのことを反省しました。これまで当たり前で過ごしていたことが、当たり前ではないということに気付きました。 これから多くの人と出会い、様々なことを学び、経験して働くことになると思うので、色々なことを考えられる大人になってほしいと思います。 みんなと大好きな合唱ができて幸せでした。これからも、このハーモニーを伝統として引き継いで頑張って歌って行ってほしいです。</p>
<p>育休代替養護教諭 森下 麻紀 先生 本校在職2年</p>	<p>私は高校生ぐらいまで自分のことが好きではありませんでした。ですから、周りに自分のことが嫌だ嫌だと言っていました。ある時、友達から「自分のことを嫌だ嫌だ」と言うのをやめてほしいと言われました。その友達は、「あなたのことが好きだから一緒にいるのに本人が自分のことを嫌だと言ったら、私はどうしたらいいの?」と言われました。自分の周りにはいる人たちは、みんなのことを好きで、一緒にいてくれる人たちです。その人たちを大切に、いつも笑って生活してください。</p>

<金子先生からのメッセージ>

皆さんこんにちは。今日の離任式に参加できないことを、残念に思います。皆さんや卒業した先輩たち、先生方から学んだことを一つだけ話そうと思います。それは、学ぶことに終わりはありません。どんな人からも学ぶことができるということです。すぐ役に立つこともあれば、10年経って思わぬところで役立つこともあります。無駄な学びなどないということです。先生は教えるだけでなく、みんなからも学ぶことが沢山ありました。先生とは違う考えをもった人も沢山いましたし、それぞれの立場や考え方を知り、学ぶことができました。先生より暗記力の良い人だっていましたし、先生より字の綺麗な人だっていました。どんな人も自分より優れたところをもっているものです。ぜひ、これから出会う全ての人から多くのことを学んで成長してほしいと思います。
これからの皆さんの学校生活がより充実したものになりますよう、いつでも応援しています。

生徒の活動の記録

卓球部

第 43 回練馬区中学校春季卓球大会 (4/29)

卓球女子の部 優勝

女子ダブルス 第 1 位 川村 碧子・岩崎 泉

女子シングルス 第 1 位 川村 碧子、第 3 位 木村 菜々



バスケットボール部

第 57 回東京都中学校第 3 ブロックバスケットボール大会 (5/3)

男子 準優勝 優秀選手賞 井 4 田口 湧大、井 5 富石 颯太

女子 準優勝 優秀選手賞 井 4 成岡 紅音、井 5 土田 涼 3 ポイント賞 井 6 有田 紗梨



陸上部

第 82 回東京陸上競技選手権大会 (4/27)

女子 100m 第 8 位 上田 彩月 記録 13 秒 21

武蔵野市民体育大会春季陸上競技大会 (4/28)

男子中学 2 年市外 100m 第 2 位 星野 大和 記録 12 秒 19

男子中学市外走高跳 第 1 位 佐藤 虹太郎 記録 1m71

男子中学市外 800m 第 2 位 中村 悠人 記録 2 分 08 秒 09

女子中学 2 年市外 100m 第 2 位 川崎 啓子 記録 13 秒 14

女子中学市外 800m 第 2 位 西田 麻沙 記録 2 分 30 秒 92

女子中学市外走高跳 第 3 位 宮川 琴音 記録 4m71

男子中学市外 4×100m 第 1 位 小倉 竜也、星野 大和

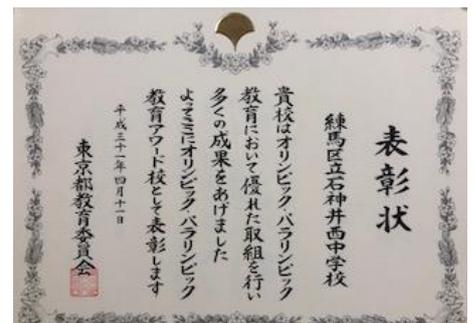
飯高 紘一郎、佐藤 匠真

記録 47 秒 23

女子中学市外 4×100m 第 3 位 西田 麻沙、中村 愛花

渡邊 凜織、上田 彩月

記録 53 秒 19



★今年度もオリンピック・パラリンピック教育アワード校として表彰されました (4/11)。

重要 全学年保護者様へ 学校連絡メールの登録についてのお知らせ

学校連絡メールは、緊急時の連絡手段として使用します。運動会の実施・延期等もメールで配信する予定です。本校では学級連絡網を作成していませんので、全家庭で登録にご協力ください。登録方法などで、ご不明な点があるときは担任まで申し出てください。